

注文FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
	〒	
新書版 176頁 注文数 部		
定価: 本体 1400円+税		
2003年9月29日発行		
日本僑報社刊行日中関係の本 <ul style="list-style-type: none">●『中国人特派員が書いた日本』●『永遠の隣人 人民日報に見る日本人』●『日中相互理解とメディアの役割』●『日中ホンネで大討論!』●『中国人の見た日本』●『中国人の見た日本』●『中国人の日本語書総覧』●『日本華僑華人社会の変遷』●『華僑社会の変貌とその将来』●『中国人の日本奮闘記』●『中国の1万2967人に聞きました。』●『私が出会った日本兵』●『つくる会の歴史教科書を斬る』●『新中国に貢献した日本人たち』 ほか多数		

日中「新思考」とは何か

馬立誠・時殷弘論文への批判

中国社会科学院日本研究所教授 **金熙徳**・人民日報評論員(論説委員) **林治波** 共著

『日中「新思考」とは何か』目次

はしがき

第一部 「新思考」論議への解説 / 金熙徳

- 第一章 「新思考」旋風は如何に巻き起こったか
- 第二章 「新思考」論議の的となった「馬・時文」
- 第三章 中国における「新思考」討論の概要
- 第四章 九〇年代以来中国における対日政策討論
- 第五章 「新思考」論議から何を思考できるか

第二部 「対日新思考」批判 / 林治波

- 第一章 「対日新思考」批判——その1
- 第二章 「対日新思考」批判——その2
- 第三章 「対日新思考」批判——その3

第三部 二十一世紀日中関係への思考 / 金熙徳

- 第一章 日中関係は試練の中で新世紀を迎える
- 第二章 新世紀の日中関係—対等なパートナーを目指して
- 第三章 戦略の創造か、それとも戦略の貧困か—『21世紀日本外交の基本戦略』への論評
- 第四章 日中両国は如何にく普通関係へ向かうか
- 第五章 中日両国は「東アジア共同体」を築けるか

関連文献リスト

あとがき



ISBN 4-931490-74-3

昨年(2002年)の末頃から、日中両国では、中国の『戦略と管理』(隔月版学術誌)に載せられた馬立誠と時殷弘の「対日新思考」を呼びかける文章をきっかけに、報道界に一大旋風が巻き起こり、白熱した討論がなされている。この討論をどうみるか。それは日中関係に対してどのような意味を持つのか?

これらの問題に答えるべく、**中国の二人の著名な学者、東京大学客員教授として来日中の金熙徳・中国社会科学院日本研究所教授と林治波・「人民日報」評論員(論説委員)の共著**により、論集『日中「新思考」とは何か—馬立誠・時殷弘論文への批判』を緊急出版する。